

## きらきらのお話

令和6年10月31日（木）

今日は、みなさんの教室にも黒板の上に掲示されている、篠原小学校のキーワード「にこにこ・きらきら・ぐんぐん」のうち、「きらきら」について、先生からお話したいと思います。

みなさんが、これからの自分の人生を、より楽しく豊かに生きていくために大事にしていくとよいと思うことは、何ですか？先生は、それを「主体的に生きる」ということだと思っています。もっと詳しく言うと、「色々な仲間と協力したり気遣ったりしながら、自分の気持ちを素直に表現して、よりよく生きられるよう、自分で生き方を決める」ということです。



スポーツ、勉強、音楽…分野は違っても、よりよく生きるため、目標に向かって主体的に頑張っている人は、「きらきら」輝いて見えます。実は、篠原小学校にも「きらきら」輝いている人たちが、たくさんいます。

例えば、6年生です。先週、6年生は1泊2日の修学旅行に行ってきました。実行委員を中心に、修学旅行の目的や目標を決めました。時と場に応じた行動を普段から意識して、授業と休み時間のけじめをつけようと声を掛け合ったり、お金や社会の仕組みを学ぶため、授業の学習と関連付けて意欲的に授業で学んだり、お互いを思いやりながら話し合い活動や班活動を行ったりと、目標に向かって全力で取り組んでいる姿は、きらきらと輝いていました。

皆さんも、同じです。林間学校など行事の成功に向けて、話し合いや活動に粘り強く最後まで取り組んでいる子。毎日の授業で、一生懸命自分で考えようとしている子。また、友達と一緒に分かろうとしている子。音楽集会に向けて、休み時間や家でも進んで練習に取り組もうとしている子。篠原小学校には、たくさん「きらきら」と自分を輝かせて、主体的に学ぼうとしている子たちがいます。

ぜひ、「きらきら」の輪を広げていきましょう。あきらめない心と、仲間を思いやるやさしさで、みんなが「きらきら」輝くことができれば、これからの学校生活がきっとより豊かになっていくはずですよ。

最後に、先生からのちょこっとアドバイスです。今、自分が頑張りたいことを一つ思い浮かべてみてください。行事、勉強、音楽、スポーツ、友達のこと、なんでもいいです。心に思い浮かべたことで、自分がどうなりたいのか、どう成長していきたいか想像してみましよう。目標が明確になれば、自然と頑張る力が湧いてきます。うまく思い浮かべられなかった子は、周りの友達の考えを聞いてみたり、先生たちが授業や行事の始めに伝える「付けたい力」のことを思い出してみたりするのもいいですよ。周りの人の力も借りながら、自分が輝けるよう、ぜひ活動へ主体的に取り組んでみてください。応援しています。